

令和7年度 第1回 宝塚市地域公共交通協議会 会議録

- 1 日 時 令和7年6月16日（月）10時00分～11時30分
- 2 場 所 宝塚市立中央公民館2階203・204学習室
- 3 開催方法 対面
- 4 出席者 別紙参照
- 5 傍聴者 0人
- 6 議 事
議案第1号（報告事項） 協議会委員の退任及び就任について
議案第2号（審議事項） 宝塚市地域公共交通協議会の役員の選任について
議案第3号（報告事項） 令和6年度宝塚市地域公共交通協議会決算について
議案第4号（審議事項） 令和7年度宝塚市地域公共交通協議会予算について
議案第5号（報告事項） 令和6年度月見山・長寿ガ丘系統、仁川・売布循環線の運行実績と見直しについて
議案第6号（審議事項） 令和7年度仁川高丸系統、売布循環線フィーダー計画の変更について
議案第7号（審議事項） 令和8年度月見山・長寿ガ丘系統、仁川高丸系統、売布循環線フィーダー計画の認定申請について
議案第8号（審議事項） 宝塚市地域公共交通計画の実施状況、計画について

議事概要

1 開会

事務局：委員21名中、18名が出席しており、協議会規則第8条による過半数の出席があったため、当協議会は成立しています。また、当協議会は公開となっておりますが、傍聴人はいません。

2 議事

議案第1号（報告事項）

協議会委員の退任及び就任について

事務局：（議案第1号の資料について説明）

質疑応答

なし

議案第2号（審議事項）

宝塚市地域公共交通協議会の役員の選任について

事務局：（議案第2号の資料について説明）

質疑応答

事務局：異議等がなければ、本議案は承認ということによろしいでしょうか。

全委員：（異議なし）

< 採 決 > 承認

議案第3号（報告事項）

令和6年度宝塚市地域公共交通協議会決算について

事務局：（議案第3号の資料について説明）

質疑応答

なし

議案第4号（審議事項）

令和7年度宝塚市地域公共交通協議会予算について

事務局：（議案第4号の資料について説明）

質疑応答

会 長：異議等がなければ、本議案は承認ということによろしいでしょうか。

全委員：（異議なし）

< 採 決 > 承認

議案第5号（報告事項）

令和6年度月見山・長寿が丘系統、仁川・売布循環線の運行実績と見直しについて

事務局：（議案第5号の資料について説明）

質疑応答

なし

議案第6号（審議事項）

令和7年度仁川高丸系統、売布循環線フィーダー計画の変更について

事務局：（議案第6号の資料について説明）

質疑応答

会 長：異議等がなければ、本議案は承認ということによろしいでしょうか。

全委員：（異議なし）

< 採 決 > 承認

議案第7号（審議事項）

令和8年度月見山・長寿ガ丘系統、仁川高丸系統、売布循環線フィーダー計画の認定申請について
事務局：（議案第7号の資料について説明）

質疑応答

委員：フィーダー補助（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）とはバスの幹線系統や鉄道駅に接続するバス路線であることが補助要件のひとつとなる国の支援制度です。事業年度は前年10月から9月終わりまでで、令和8年度は令和7年10月から9月までが補助対象期間となります。国も支援しますが、地域のバスを支える取り組みが必要です。

会長：更新を予定する仁川循環線の車両について、大きさや購入台数を説明いただけますか。

事務局：現行と同じマイクロバスで、予備車1台を含む3台の購入を検討しています。

委員：スロープ又はリフトは付きますか。

事務局：現行と同じくリフト付きの車両の購入を検討しています。

委員：非化石燃料車の導入は検討していますか。

事務局：令和8年度に更新を予定する仁川循環線では非化石燃料車の導入を検討していませんが、宝塚市地域公共交通計画にも定めているとおり、環境にやさしい公共交通車両の導入については、公共交通のめざす姿に向けた施策・事業のひとつとしています。

委員：議案第5号-P3のコミュニティバス運行見直し基準では、山手地域バス路線（仁川・売布循環線）における1日の利用者目標を660人と定めている一方、議案第7号-P5の事業の目標では、異なる指標が定められています。また、議案第5号-P4と議案第7号-P5の仁川・売布循環線の実績に関し、収支率や利用者数が異なりますが、理由を教えてください。

事務局：議案第5号-P3の山手地域バス路線（仁川・売布循環線）におけるコミュニティバス運行見直し基準では、兵庫県市町支援交付金交付要綱に基づき、運行当初に定めた目標値を用いつづけています。一方、フィーダー補助の認定申請に係る議案第7号-P5では、令和5年4月に策定した宝塚市地域公共交通計画で定めた目標値を用いています。また、議案第5号で審議した兵庫県市町支援交付金の補助対象系統には仁川台系統が含まれているのに対し、当議案で審議しているフィーダー補助には仁川台系統が補助対象となっていないことから、実績が異なっています。

会長：異議等がなければ、本議案は承認ということでしょうか。

全委員：（異議なし）

< 採 決 > 承認

議案第8号（審議事項）

宝塚市地域公共交通計画の実施状況、計画について
事務局：（議案第8号の資料について説明）

質疑応答

会 長：宝塚市では地域公共交通計画を策定し、“「活動しやすいまち宝塚」をみんなで守り みんなでつくる”を基本理念として、めざすまちの姿の実現に向け取り組むこととしており、人の活動に焦点が当てられています。当スローガンと事業の結びつきの視点からもご意見ください。

委 員：小学校を対象としたモビリティ・マネジメントに関し令和6年度は何校で実施しましたか。

事務局：2校で実施しました。

委 員：昨年度、阪急バスではバスの便利さや乗り方、バスに携わる職業などを紹介する小学生高学年向けの副教材（くらしを支えるバスにどきどき）を小学校に配布し、宝塚市の小学校にも配布しました。今年度は低学年向けの教材を作成し、現在、配布に取り掛かっています。

会 長：最近バスとの接点を増やすことで子どもの発達教育にも役立てようとする取り組みが行われています。宝塚市内の小学校で当副教材を配布したことについて、事務局で施策評価表一覧に追記することをご承認ねがいます。

委 員：自家用車で移動する世帯が多くなる中、小学生を対象にしたモビリティ・マネジメントは有意義な取り組みです。また、バスの運転士が不足する中、小学生の内に公共交通に携わる職業を知ることは非常にいい機会であり、ぜひ続けてください。

委 員：現在、北部地域の人口は約2,000人で高齢化率は49%程度となり、公共交通を利用する子どもの数も減る中、武田尾駅のバリアフリー化が実施されることはありがたいと思います。一方、北部地域内の移動や買い物、病院への移手段の確保が大事であることから、西谷地区まちづくり協議会の福祉部会が中心となり、西谷移送サービス（ボランティア輸送）を実施しています。昨年度は、課題であった車両の更新や高齢化による運転士不足の解決に向けて、車両の維持費や保険料に対する支援を市から受けました。地域で交通弱者を支える仕組みが必要だと考えますが、継続的な支援と専門的な知識をいただければ幸いです。

会 長：国でもモビリティ人材育成事業を実施しています。予算の確保が必要な事業ですが、貴重な意見に答えるように事務局としても尽力ねがいます。

委 員：湯本町地域で実施された小型EVを活用した実証実験の結果を教えてください。また、宝塚市ではシェアサイクルの導入がありませんが、今後の考え方を教えてください。

事務局：昨年度、観光客を対象にした小型EVの実証実験が行われ、利用者数は10人程度であったと事業者から報告を受けており、今年度も同様の実証実験を行うとのことです。また、先日、西宮市や尼崎市などでシェアサイクルを導入している事業者から、阪急電鉄の駅に展開していきたいとの情報提供を受けましたが、現時点で詳細な情報は入っていません。

会 長：今年度の小型EVの実証実験に関し、報告という形でも構わないので共有をお願いします。

事務局：観光部局から情報提供がありましたら、詳細を共有します。

会 長：シェアサイクルが該当する施策分野はないのでしょうか。

事務局：施策分野1-3多様な移手段の充実による活動機会の拡大に広い意味で含まれているものと考えています。

委員：阪急電鉄の沿線でシェアサイクルの導入を進めていますが、生活利用での実績が増えており、公共交通を補うパーソナルモビリティのひとつとして考えられないかと思い、質問しました。

会長：交通事業者がいつ路線撤退するか不安定な側面がある中、シェアサイクルは短距離だけでなく、中・長距離の移動にも利用され、路線バスの需要を奪ってしまうことが多々あるため、本格的に計画する前に調査や分析をすることは必要です。

会長：異議等がなければ、本議案は承認ということによろしいでしょうか。

全委員：（異議なし）

< 採 決 > 承認

3 その他

その他① 福祉施設等の送迎車両及びバス・タクシー運転士の充足度合いについて

委員：中山台では阪急バスが路線バスを運行していますが、まとまった需要が減ることで、バスの本数も減っています。高齢者施設等の送迎車両を公共交通の一環として空き時間に活用できないかといった話を聞いたことがあります。何か考えはありますか。

委員：そういった活用ができないかといった意見は全国各地であり、活用しないと立ち行かない地域もあります。ただし、現在、頑張っている路線バスが運行している地域で、むやみに他の移動手段を導入するとバス会社が持ち堪えられなくなり、バス路線が廃止されると本末転倒になるため、調和がとれるような考え方が必要です。

委員：バス路線が廃止されると住民も困るため、共存できる形で便利に利用できる方法を考えられないでしょうか。

委員：バスの運転士不足が報道でも取り上げられる中、阪急バスでも5年ほどで100人以上の運転士が減っています。輸送を担えない状況が一部で発生しており、代替交通がある地域や、あるいは極端に利用者が少なくなり、路線バスの輸送の領域ではなくなっているところで、減便や廃止をしています。また、黒字路線でも減便せざるを得ないところまで追い込まれていることから、路線バスに代わる他の移動手段についても、研究していく必要があるかもしれません。ただし、現在、頑張っている路線バスが運行している地域でむやみに他の移動手段を導入すると廃止せざるを得ないところまで話が繋がるということにもご配慮ください。

会長：タクシー運転士の充足度合いはいかがでしょう。

委員：慢性的に不足していますが、コロナ禍に比べると増加傾向です。

委員：25年前から右肩下がりの状況が続いていましたが、ここ1年くらいで少し止まっています。引き続き、若年層や多様な人材を確保していきたいと考えています。

会長：バス運転士の充足度合いは下げ止まった状況でしょうか。

委員：ベースアップによる処遇改善や女性にも活躍いただけるような施設・職場の改善を行い、募集はかけていますが、あまり応募いただけない状況が続いています。

その他② 北部地域のバス路線について

事務局：現在、北部地域では阪急バス武田尾線が運行しており、市が運行欠損の一部を補助することでバス路線の維持確保を図っております。しかしながら、利用者の減少や、近年の燃料価格高騰と運転士不足の解消に向けた運転士の処遇改善に伴い、運行経費が増加し、年々、運行事業者である阪急バスの自己負担が増加しています。そういった状況から、先日、阪急バスから令和9年4月での路線廃止の申し出を受けました。一方、当路線は北部地域の交通弱者にとって重要な路線であり、西谷小中学校に通学する生徒にとっては不可欠なものであるため、地域と調整を行いつつ、代替措置の検討を早急に行いたいと考えています。

委員：交通弱者である生徒の通学手段の確保は絶対に必要であり、北部地域には高齢者も多くいるため、武田尾線が廃止するとしても、公共交通の機能をもった新たな移動手段が必要です。地域でも理解を深めていきますので、ご協力をお願いします。

その他③ 月見山・長寿ガ丘系統（ランランバス）について

委員：月見山・長寿ガ丘のランランバスはフクユが運行していますが、バスを支える側として事業者任せではいけないと考えています。同地域は2,800人あまりの人口ですが、勤労世帯が70%以上を占めており、晩の便を利用する多くの利用者が日中の便を支え、持続可能な公共交通となっています。宝塚市が掲げる「活動しやすいまち宝塚」が実現できており、当協議会のおかげで様々な計画が進んだことにお礼申し上げます。

会長：ランランバスでは地域が一丸となって支えている仕組みができているのでしょうか。

委員：5つの自治会が協議会を持ち、問題解決の場としています。運行事業者のイコールパートナーとして、責任をもって継続できるバスを目指しています。

会長：毎年、ランランバスのパンフレットを作成しているのでしょうか。

委員：年に4回、バス通信を発行しています。

会長：ぜひバス通信も共有いただきたいと思います。また、これまで培ってきたノウハウや仕組みづくりが多く地域で共有されるべきだと思いますので、よろしくをお願いします。

4 閉会

以上